

魅力動画

同友会って  
どういう会?

入会申込み

Facebook

行事案内

# おきなわ同友会しんぶん ニライ みらい

2023年(令和5年)  
9月号  
No. 426

発行: 沖縄県中小企業家同友会  
編集: 広報委員会

〒901-0152  
沖縄県那覇市字小禄1831番地1 沖縄産業支援センター603号  
☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208  
http://www.okinawa.doyu.jp  
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp



(株) 崎浜商店  
専務取締役 崎浜 秀太 氏 (北部支部)

## 21世紀に 輝く No.224

七〇周年は通過点、一〇〇年企業を目指す

今回は創業七十周年を迎えた名護の老舗企業、食糧品と酒類の総合卸商社、(株)崎浜商店の崎浜秀太専務取締役にお話を伺いました。

崎浜専務は専門学校卒業後、二年間オリオンビールで営業をしていました。浴びるほどビールを飲んだ日々だったそうです。二年間の修行を経て、当時、祖父が代表者であ

営業は商品ではなく人を売る

崎浜専務の主な業務は、経理・人事労務・総務などのバックオフィス業務と、それとは対外的な日々のお付き合いです。取り扱う商品がお酒ということもあり、お酒のお

つき合いがとにかく多いと笑いながらお話をされていました。

崎浜商店の創業は本部町で乾物屋から始まり、祖父が会社を継いだ時を機に名護に移転しました。本部町での創業時期がわからないため、名護に来た年を創業の年として、今年で七十周年をむかえました。現在、明確な経営理念はありませんが、七十年の歴史の中で「営業は商品ではなく人を売る」という考えを大事にし続けてきました。七十周年を機に経営指針作成講座を受講し、経営理念を作

この数年のコロナ禍で、飲食店やホテルなどの稼働が止まり、当時の売上は三分の一になりました。とにかく厳しい期間であり、様々な支援制度を利用しながら雇用の維持に努めてきました。また、業務量が減ったことを機会に日曜日、水曜日と曜日を決めた完全週休二日制を導入し、活況を取り戻した現在も、業

つてみたいと話します。

コロナ禍で日曜日、水曜日の完全週休二日制に

### 第17回雇用・就労支援フォーラム

日時: 10月7日(土) 13:00~19:00 (受付12:30)  
会場: 浦添市社会福祉センター、ハーモニーセンター

テーマ: 究極の働きやすさをめざして  
~環境づくりの追求と幸せと思える社会づくり~

講師: (有)奥進システム 社長 奥脇 学氏  
(中同協障害者問題委員会副委員長) 奥脇 氏

申し込みはこちら

---

### 第33回経営研究フォーラム

日時: 11月20日(月) 14:30~20:00 (受付14:00)  
会場: 沖縄産業支援センター (那覇市字小禄1831-1)

第I部 [基調講演] (14:30~15:45)  
テーマ: 生きること・働くこと・学ぶこと  
~「共育」で一人ひとりが輝く企業に~  
講師: 花園大学教授・名古屋大学名誉教授 植田 健男氏

第II部 [分科会] (16:00~18:45)  
第III部 [懇親会] (19:00~20:00)

植田 氏

DX推進で業務の効率化を図る

現在、力を入れて取り組んでいるのが事務仕事の自動化、DXです。社員募集をかけてもなかなか応募もなく人手不足であり、仕事量がコロナ前に戻った現状において、業務の効率化は必須でした。毎日、多くのお客様から様々な注文をいただいたり、その内容を販売管理システムに自動で入力できる仕組みを整えました。それでも人手不足はなかなか補えず、とにかく人力で行う事務作業を減ら

今後は、コロナ禍で失った利益を取り戻すべく営業し、この先ずっと続くと思われる人手不足を効率化で補い続けることが大きな課題です。七十周年は通過点であり、一〇〇年企業を目指して日々頑張っていきたい！と目を輝かせながら力強くお話をされました。

(株)琉球若草・大森陽介

### 《会社概要》

(株)崎浜商店  
専務取締役 崎浜 秀太 氏  
(北部支部)

住所/名護市字大南4-11-13  
TEL/0980-52-3494  
事業内容/食品酒類卸売業  
URL/https://sakahama.jp/

## 茶論

樹々の青重ねて 秋も始めなり / 鞠絵由布子

スポーツの世界には、挑戦と困難がつきものだが、ひときわ輝く復活の物語がある。田中正義、池江瑠花子、浜田剛史の復活の物語は、絶望を希望に変える力強い証拠だ。プロ野球の田中正義投手は、怪我による長いリハビリ期間を乗り越えて見事な復活を遂げている。逆境にめげず、地道な努力を続ける姿勢が示すのは、信じる力と常に一歩前への大切さだ。池江瑠花子は、病と闘いながら水泳のトップに返り咲いた。彼女の強さは、希望を持ち続ける意義を教えてくれる。暗闇でも心に光を灯し続ける勇気が必要だ。ボクサー浜田剛史は、四度の骨折と二年間のプランクという挫折と困難を乗り越えて世界チャンピオンに輝いた。忍耐と努力。諦めず努力すれば、夢は実現できることをウチナンチュに示してくれた。彼らのストーリーから私たちは人生を豊かに生きる指針を得ることができる。逆境を乗り越えるには持続的な努力と前向きな姿勢が不可欠だ。絶望的な状況でも希望を失わず、明るい未来を信じ切ること。忍耐と努力で成功への道を切り開くことができる。▼ひんやりと肌知りけり島の秋 / 近藤みどり (作古)



赤のベースに白文字でActive、看板がそのまま人柄な会員さんのバイクショップ「アクティブ」に、取材という名目でバイクを見るのを楽しみに伺いました。

この車種がこうこうで...という楽しい話はさておき、代表取締役の米盛長広さんが語る、以降はここ数年のバイクにまつわる変遷のお話です。

ペーシングをバイクの販売にしつつ、島内ツーリングの需要があればレンタルの観光客のためにバギンを取り扱うようになり、ミドル層が果敢にも参加したこともあり、誰にも負けないバイクへの情熱が感じられます。

楽しいからやっている、いつまでとは決めてはいない。逆にいつまでも続けていきたい。そう語る米盛さんの周りにはだからこそ、楽しく集まる笑顔の人が多く見られます。

バイク愛をいつまでも



米盛氏

「誰かを問われる経験から。以前は東京まで旗頭を持って行って豊年祭を再現したということも。何故ここに?というワラの松明も「豊年祭のため」と聞くと自然にうなづけます。

同じ地域に對しても情熱をそそぐのは、海外に行けば行くほど自分が誰かを問われる経験から。以前は東京まで旗頭を持って行って豊年祭を再現したということも。何故ここに?というワラの松明も「豊年祭のため」と聞くと自然にうなづけます。

《会社概要》 (株)アクティブ 代表取締役 米盛長広氏 (八重山支部) 住所/石垣市字新川380-1 TEL/0980-83-7028 事業内容/オートバイ販売・整備

宮古支部「グリーン光」の体験企画 宮古支部「グリーン光」の体験企画がクリスタルヴィラベイサイドで開催されました。

宮古支部「グリーン光」の体験企画がクリスタルヴィラベイサイドで開催されました。第一部は島根県出身の(株)百市小幡美香代表取締役を講師にお招きし「どじょうすくい講座」が行われました。

宮古支部「グリーン光」の体験企画がクリスタルヴィラベイサイドで開催されました。第一部は島根県出身の(株)百市小幡美香代表取締役を講師にお招きし「どじょうすくい講座」が行われました。

どじょうすくい講座! Photo of people participating in a lesson.

今回は用意されたワインはブルガリア産4種類(スパークリング、白、赤、ロゼ)、まずはスパークリングワインが入ったグラスを手に取り、周りから一目置かれる乾杯の仕方を教わりながら大人の乾杯でスタート。その後クイズを交えながら、ワインの歴史、ワインのタイプ、造り方などを学習しました。おいしい食事とワインで島根県、那覇支部、宮古支部が繋がった楽しい夜でした。(アナタビ宮古島・愛川直樹)

宮古支部「グリーン光」の体験企画がクリスタルヴィラベイサイドで開催されました。第一部は島根県出身の(株)百市小幡美香代表取締役を講師にお招きし「どじょうすくい講座」が行われました。

続いてワイン講座も Photo of people at a wine lecture.

七月二十七日、暮らしの発酵ライフスタイルリゾートにて中部支部例会が開催されZoom併用で三十三名が参加し、株式会社トマス技術研究所代表福富健仁氏による「トマス経営者のひとりごと」Barfly(ベルーフ)生きがい、やりがい、生きる意味」と題した報告が行われました。



福富氏

「技術を通じた環境改善」を目指す

福富氏は鹿児島県奄美大島出身。琉球大学工学部卒業後、エンジニアとして沖縄県内のプラントメーカーに就職。離島のごみ問題を目の当たりにし「技術を通じた環境改善」目指し二〇〇三年に創業。研究・試行錯誤を経て多様なごみを無煙処理できる小型焼却炉「チリメーサー」の開発に成功し、環境大臣賞をはじめ数々の賞を受賞。「チリメーサー」は現在、日本のみならず海外でも活躍する発明品となつてい

ます。しかし、これまでの道のりは当然容易いものではなく、開発はしたものの半年で一台しか売れずとうとう会社の残金は十円。けれども二日後には銀行の返済日が迫っている。さて福富氏はどうやるか。

七月五日より、第五十六期経営指針作成講座がスタートし、第一講では「労使見解、経営理念」について、喜納朝勝代表理事が講師を務めました。続いて七月十一日の第二講では、真栄田一郎相談役が講師を務め、「経営理念・十年ビジョン、財務分析」についての講義。七月十二日の第三講では、宮城勇相談役が講師を務め、「経営方針の作成、経営戦略」についての講義、情勢分析ではポストイットのワーク



経営指針作成講座開講!

共同求人委員会では、これまで大きな会場で行っていた合同企業説明会を基本に開催してきました。しかし、昨今の学生の動きを鑑み、今年は地域での小さな単位の合同企業説明会に挑戦して

残りの第五講、第六講でも受講生は、講師やサポーターのアドバイスを受けながら、「経営指針」づくりに真剣に取り組みます。(事務局)

「地域で合説」を北部・中部の2カ所で開催!

文進印刷株式会社 本社/〒901-0416 沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706-4 TEL (098) 996-3356 (代) FAX (098) 996-3357

### 中部支部新会員ランチ会 ゲストも参加して大盛り上がり

七月四日、中部支部では初の取り組みとして、「新会員ランチ会」を暮らしの発酵ライフスタイルリゾートで開催しました。新会員三名とそれぞれがゲストを四名連れてきていただき、中部支部の幹事と駆けつけてくれた座間味副代表と総務委員の角江委員長と総勢十八名で盛大なランチ会を開催できました。新



総勢 18名でランチ会

んには、幹事の皆さんとのつながりができ、情報も伝わりやすくなるという狙いでした。さらに、ゲストもつれてきていただき、そのうち一名がその場で申し込み、三名は前向きに検討いただけたということ

で、新会員のモチベーションアップと会員増強と一石二鳥の会になりました。二十日に開催されたZoomで学習会、二十七日の支部例会にもつながりとても良いイベントとなりました。(株)アイセック・ジャパン・一瀬宗也)



組踊り

した。(事務局)

### 第28期同友会大学入学式・第1講 組踊から沖縄の歴史を学ぶ

七月二十二日、「結の街」と国立劇場おきなわにて、第二十八期同友会大学の入学式・第一講が開催されました。まず入学式が「結の街」にて開催され、受講生と運営委員など二十五名が参加しました。小渡玲学長、下田美智代運営委員長、講師・来賓から山城定雄氏の挨拶を頂き、第二十七期卒業生の新井夏



名刺交換からスタート

とす」は、スイミングスクールからスタートした同社のその後の事業展開を見据えていたかのようです。寿ランドのスイミングスクールには地域の子供からお年寄りまで幅広い

七月十四日、那覇市おもしろまちの炭火狼煙にてうりずん新入部員歓迎会

が行われました。最初に皆で一斉に名刺交換をした後は、新部員からのプレゼンと、質疑応答。若手らしく将来の事業承継への思いを馳せる姿や、まだ経験も浅い中、自身と事業との間に複雑な思いを覗かせる一面も見られました。その後はお酒も入り、

### 青年部うりずんへようこそ!

うりずん新入部員歓迎会

### ”人の生活の背中を押せる会社”

年齢層の方が集まります。特に、お年寄りの利



平良氏

持つ児童のための放課後等デイサービスへと拡大し、障害を持たない子供の学童クラブへも展開していきました。各福祉施設はスイミングを取り入れることで健康増進はもちろんのこと、生活の質に関わる体

寿成さんは二〇一九年に代表取締役就任したばかり。創業時の経営理念のとおりにこれまでに事業が拡大してきたことに驚くとともに、この理念を守り続けていきたいと語っていただきました。これまでスイミング×福祉で発展してきた同社ですが、寿成さん

の機能の維持・回復も狙っています。また、お年寄り子どもたち、障害を持つ人と持たない人の交流が生まれることで、お年寄りにとっては元気を取り戻す場所となり、子どもたちにとっては多様な学ぶ場にもなっているそうです。その後はお酒も入り、さらなる成長を目指して、新たなアプローチを模索しています。多世代と多様性を合わせ持った場所として、地域に貢献し、”人の生活の背中を押せる会社”の願いです。(伴走者・牧野誠)

### 《会社概要》

(有)寿ランド  
代表取締役 平良 寿成氏  
(南部支部)

住 所 / 南風原町字宮平499  
TEL / 098-889-5775  
事業内容 / スイミングスクール、福祉事業  
URL / https://kotobuki-land.co.jp/



七月十八日、沖縄産業支援センターにて、第二十二期社長・社員共育塾がスタートしました。今期は二十社八十五名の申込がありました。今期の年間テーマは「よい経営幹部になろう」ということで、冒頭のオリエンテーションでは、真栄田士郎社員教育委員長から、年間テーマに込められた想いと各講の学びのポイント紹介がありました。また、自身が経営幹部として意識していたことについて①トップの悩みを一つでもなくす②社長を一人にしない③社長の雑務をなくす④仕組みづくりと具体的に紹介されました。その後、第1講はグループ討論研修の内

七月二十四日、沖縄産業支援センターにて第三回新人フォロアップ研修会が開催され、受講生九十七名を含む一〇二名が参加しました。今回は初めて、大ゆんたく会という内容で開催しました。ファシリテーターは(株)琉球補聴器の森山賢社長が務め、「入社して楽しかったこと」「辛かったこと」「仕事を



大ゆんたく会!で思いを交換

### 社員教育委員会活動について 新人社員も経営幹部も学べる場!



新部員からプレゼン

六月十二日、南風原商工会にて新会員オリエンテーションが開催され、新会員に三名が参加しました。◆新会員紹介◆  
① 列目左から順に  
② 南部支部所属、金城モーターズ 金城 盛代表  
③ 南部支部所属、ユニー

### 新会員 オリエンテーション

皆総立ち。笑顔で声を出し合い、時間を惜しむように新たな部員との懇親を深めた楽しいひと時となりました。(株)ハルモニアグラランデ・小橋川 牧



3名の新会員さんが参加♪

# 「中小企業魅力発見フェア」 中小企業の魅力、ブランディングによる企業の魅力を伝える



赤嶺副代表より「中小企業の日」の説明

起され、二〇一九年に開議決定されたことなどの経緯と意義についての説明



青木氏

明がありました。

第一部では(株)ノイズ・バリユー社・専務取締役の青木元氏が「中小企業の魅力、ブランディングによる企業の魅力」をテーマに、中小企業の強みである「決断力の速さ」「連携力」やブランディングの重要性について、成功事例を紹介しながら中小企業の魅力を発表しました。その中で青木氏が「もったいないと感じた事例で、外国人観光客が観光地で十数万円近くの買い物カード決済できず、結局数千円の商品のみ購入していった。売側の準備ができていないことでチャンスを逃している。自分たちがで



島袋氏

きないことを他の企業と連携することで解決策を講じることが大切」と話

していたことが印象深かったです。(株)フアンファール・ジャパン・社

長の島袋武志氏とのトークセッションでは、地域の課題を解決できるのが中小企業の実力であり、「誰もやらないことをやる!」という熱い想いを感しました。

第二部では「大学生による中小企業の魅力発見」と題して、沖縄国際大学の学生が実際に企業



大学生によるプレゼン

を訪問し、その会社の課題を取り上げ、解決案をプレゼンするという面白い内容でした。学生ならではの視点に対して、経営者や専門家側からのア

ドバイスや提案も出され、聞いていたこちらが勉強になりました。プログラムの合間に行われたビジネスピッチには多数の企業が参加しており、その会社の魅力を熱く伝えていました。会場には大学生や専門学生も参加されており、この子たちが中小企業の魅力を知ること、沖縄の未来はどんどん明るくなると感じました。(有)友誠・棚原歩美

## 北部支部ビーチパーティー BBQにゲームに盛り上がる!

7月2日(日)、北部支部ビーチパーティーが4年ぶりに名護市の幸喜ビーチで開催されました。

真夏日の下、会員の家族や知人を招待し、十二名が参加し冷たいビールと美味しいBBQを堪能しました。また仲宗根修司さんの提案でモルックという競技を行いました。フィンランド発祥の投げ競技で、地面に立て並べられた十二本の木の



名護市の幸喜ビーチで堪能する

ピンをめがけて木の棒を投げ、獲得した点数を競うスポーツです。ゲームの中で、高木朋子副支部長が一投目で十二本すべてのピンを倒して歓声が上がりました。勝ち抜き戦では儀間真人さんが優勝して初代モルック王子を襲名しました。準備から片付けと

大活躍していただいた崎浜秀太幹事長のおかげで楽しい一日となりました。(株)オキジム・當山(安史)

## 浦西支部三二例会 経営者の覚悟と姿勢



伊波氏

した運営の難しさ。「だから僕たちは、企業や市民とパートナーになりたい。皆がこうした活動に参画する風土をつくりたいんです」と熱く語る一幕がありました。

交流の中で子どもたちの人となりを知るほどに、彼らを応援したくなる。そんな心に残る会でした。(株)ハルモニアアグラデ・小橋川牧

七月二十八日、浦添市社会福祉センターにて、浦西支部三二例会を開催しました。報告者は幹事長でもあり、元氣印でもあり、とにかくパワフルな(有)フイチャー企画社長の伊波重矢子氏。

特に印象に残ったことは、利用者さんとの距離が近いことです。二十代のころはよく利用者さんを連れてカラオケに行ったり、利用者さんに寄り添う姿勢に安心感と親近感を感じました。社員さんとの関係も良好で、会社での明るい空気がひしひしと伝わりました。今年にはひよんなことから経営指針作成講座を受

またグループ討論では、「経営者の覚悟として、社員とちゃんと向き合っているか」のテーマで熱い議論が交わされました。社長の役割とは? 経営者の覚悟とは? という内容を中心に議論し、経営者は人を幸せにすること、社員や社内の問題を解決すること、会社や社員に経営理念を軸にしっかりととした道筋を示すこと等、様々な意見を出し合い学びを深めました。

報告を聞いて社員さん、利用者さん、地域に寄り添う伊波氏の経営者としての姿勢には、大変多くの事を学ばせて頂き、中小企業家同友会の目指すべき会社の在り方が垣間見えた、大変有意義な三二例会になりました。(有)バージョン・當間哲也

## 2023年4-6月期景況調査の結果について (見解)

### 全業種の業況判断DIは微増も業種間にばらつき。 価格転嫁・生産性向上・賃上げに注視。

沖縄県中小企業家同友会は、会員企業から抽出した397社を対象に6月1日から6月30日の期間、「4-6月期景況」についてのアンケート調査を実施しました。その結果について見解を発表します。(本文中、特に断りのない限り前年同期比です)



(調査結果のグラフはこちらから)

(1) 回答企業	135社	回答率	34.0%
(2) 業種別	( )は実数		
製造業	14.8%	(20)	
建設業	9.6%	(13)	
流通・商業	31.1%	(42)	
サービス業	35.6%	(48)	
情報	8.9%	(12)	
(3) 規模別	従業員数		
<正従業員>	平均	30名	
<臨時従業員>	平均	18名	

- ①業況判断DIは前期と比べて(24.6⇒24.8)わずかに改善し、5期連続プラス超。
- ②売上高DIは、建設業、製造業で大幅に改善しプラス超に転化。流通・商業で大幅に悪化するも、引き続きプラス超。
- ③経常利益DIは全業種ともプラス超。業種別では、流通・商業で後退するも、それ以外の業種で改善し、建設業、製造業は大幅に改善してプラス超に転化。
- ④資金繰りDIは後退・悪化しマイナス超へ転化。業種別では、製造業が大幅悪化しマイナス超へ転化。サービス業はわずかに改善するも、引き続きマイナス超。
- ⑤経営上の問題点は前期に続き「仕入単価の上昇」が第1位。第5位には前回第9位の「管理費等間接経費の増加」が浮上。力点は、前期に続き「新規受注(顧客)の確保」が第1位。
- ⑥先行きは、ほぼ横ばい。業種別の情報の改善は、前期調査同様の見通し。
- ⑦賃上げ実施状況は7割と高いが、賃上げ率は2%未満が3割。業種別では、経営上の問題点に「従業員の不足」を第1位にあげたサービス業、情報で3%以上の賃上げが約5割。